

第1学年「国語」学習指導案

授業者 藤枝 真奈

2月20日（木）1階D室 10:00～10:40 話し合い10:55～11:45

1 単元名 ぴったりのことばであらわそう

単元目標	○対話を通して、話し手の表したいことにふさわしいことばを考え、推敲する。
------	--------------------------------------

2 単元について

1年生では、日々、子どもの‘今’からことばの学習を作り続けている。1学期から、〈お話サークル〉話を聴き合う。～〈サークル作文〉書きことばとして推敲し、ノートに書く。～出てきたことばの中から、ことば集めをする文字（平仮名・片仮名・漢字）を決定する。～〈音読・ことば集め〉家庭学習で、その日の作品を音読し、ことば集めをする。～〈ことば集めの共有〉翌日、実物を家から持ってきて、発表をする。～〈新出文字の学習〉プリントで文字の練習をするという流れで学習を行ってきた。

〈サークル作文〉は、話し手の表したいことにふさわしいことばをみんなで考え、つむぎ出す時間である。話を聞いたり、質問に答えてもらったりして分かったことを付け足そうと日頃から呼びかけている。また、いいと思った表現について、意見が出ることも望ましいと伝えている。話し手本人が納得する、より伝わる表し方になるように心がけている。

〈サークル作文〉では、[拡充] 他者の言葉を受け取って、自分のものにするなど、[理解] 質問することで話し手が語っていること・体験したことを想像し、理解するなど、[感度] 見立て・ユーモア、他者の言葉にひっかかるなど、が起こっている。

1年生3学期には、子ども同士の考えがより繋がっていくように留意したい。また、以前に学んだことと現在のことばの共通点に気づけるように、ことばへの感度を育てていきたい。

3 学習指導計画（18時間目／3学期 全33時間）

話し手の表したいことにふさわしい、より伝わる表現にするために、

- ・長い一文→適切な長さの文にする
- ・事実と感想を分ける
- ・質問では答えていたが、再話には盛り込まれなかった大切だと思う情報を付け加える。
- ・主語と述語のねじれなどに気づき、学んでいく。また、話された内容によって、
- ・よい題名とはどんなものか。
- ・助詞の選択 などを適切に話し合い、考える。

4 本時の学習について

（1）本時のねらい

対話を通して、話し手の表したいことにふさわしい言葉を考える。

（2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 〈お話サークル〉で、話を聴き合う。	○子どもたちが話を聞き合い、ひっかかった事柄やわからない事柄などについて質問し、答えられるように、留意する。
2 〈お話サークル〉をふり返り、「今日の赤帳の話」を選ぶ。	○選ぶ理由が、知っているから知らないから以上の意味をもつことに発展していくように、見守る。
3 話し手の再話を聴く。	○再話で変わったことがあることに気づかせたい。
4 話し手の語ったことや今までの経験を基に考え、文章を推敲する。	○推敲している箇所や注目すべき言葉が共有できるようにする。
5 推敲された文章をノートに書く。	○話し手に敬意をもって、意見を出せるように指導する。
家庭学習 音読 ことば集め など	

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

子どもたちのことばへの感度の表れ。対話による学びについて。